

# 令和3年度(4年産)ビール大麦等生育概況⑤

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和4年3月4日

(調査基準日3月5日)

## 【2月21日～3月3日の気象概況】

宇都宮市の2月21日から3月3日までの平均気温は、平年より0.2℃低く4.9℃であった。降水量は平年比0%と少ない。日照時間は平年比133%と多照であった。

## 【3月4日のニューサチホゴールドンの生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールドンの生育は、平年に比べ草丈は75%、茎数は104%であり、葉齢は0.9枚少なかった。葉色値(SPAD)は平年比98%であった。幼穂長は48%、幼穂長は65%、幼穂分化程度は「IX期」であり、平年より0.8ステージ遅れている。生育は全体的に平年より遅れている。

## 【3月4日時点での茎立期予測】

ニューサチホゴールドン及びサチホゴールドンの幼穂長は、3月5日の調査ではニューサチホゴールドンで5.3mm、サチホゴールドンでは5.1mmとなった。

本年の積算温度は平年を下回っており、本年の茎立期は平年の茎立期(サチホゴールドン3月15日、ニューサチホゴールドン3月16日)より遅くなる見込みである。3月4日時点での茎立期予測は、気温が平年並みに推移した場合3月22日、平年+2℃で推移した場合3月18日である。ただし、今後平年気温より2℃より高い気温が続いた場合、予測より早まり、平年値に近づく可能性はある。

平年並みの気温推移の場合	平年+2℃の気温推移の場合
3月22日(平年+7日)	3月18日(平年+3日)

【気象庁季節予報(3月3日発表) ※毎週木曜日 14時30分更新】

天気は数日の周期で変わる。平年と同様に晴れの日が多い見込み。

向こう1ヶ月の

- ・平均気温は高い確立 50 %
- ・降水量は、少ない確率 40 %
- ・日照時間は、平年並みの確立 40 %

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 03/05~04/04	
		1週目 03/05~03/11	
		2週目 03/12~03/18	
		3~4週目 03/19~04/01	
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 03/05~04/04	
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 03/05~04/04	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ※1週目 : 3月5日~3月11日  
 2週目 : 3月12日~3月18日  
 3~4週目 : 3月19日~4月1日

【今後の管理】

1) 踏圧 (麦踏み)

茎立期直前までに1~2回実施するのが望ましい。幼稈長は十分目視できるので、確認した上で作業を行う。

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う (目安として靴に土がつかない程度)。

2) 排水対策

今後の降水に備え、できるだけ早期に明きよの整備を行う。

整備のポイント

- ① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。
- ② 溝が土や泥等で埋まっていない (埋まっていたらさらう)。

出穂期以降の湿害は、生育遅延、枯熟れ等で収量や整粒歩合の低下、細麦など子実の充実を著しく阻害するため、適切な排水対策を行う。

3) 雑草対策

今後気温が高くなるにつれ徐々に雑草が大きくなってくる。雑草が多いほ場では、時期を逃さないよう除草剤を使用し、早めの雑草防除を行う。

★農薬は使用前にラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使う★

【耕種概要等】

調査方法 : ほ場調査(草丈、茎数、葉齢、葉色)

抜取調査(幼稈長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期 : 11月8日(前年11月6日・平年11月6日)

播種量等 : 条間22cmのドリル播、播種量226粒/m<sup>2</sup>設定

踏圧 : 12月14日、12月24日、1月6日、1月20日、2月4日、2月21日

追肥 : 2月9日 N2.3 kg/10a (3%尿素溶液100ℓ/10a)

## 【調査結果】

農試本場（宇都宮市）における生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉 齡	葉色 SPAD	正規化	幼穂長 mm	幼穂長 mm	幼穂 分化程度
						植生指 数 NDVI			
ニューサチホ ゴールドデン	本年	13.5	1611	6.5	41.1	0.51	5.3	2.4	8.3
	前年	19.1	1773	7.8	41.9	0.66	9.1	3.4	10.1
	比・差	70%	91%	-1.3	98%	78%	58%	69%	-1.8
	平年	18.0	1552	7.4	42.0	0.62	10.9	3.7	9.1
	比・差	75%	104%	-0.9	98%	83%	48%	65%	-0.8
サチホ ゴールドデン (参考)	本年	13.2	1464	6.4	41.4	0.48	5.1	2.4	8.7
	前年	18.6	1780	7.7	42.3	0.63	8.4	3.1	9.9
	比・差	71%	82%	-1.3	98%	76%	61%	79%	-1.2
	平年	17.1	1472	7.5	41.4	0.61	9.9	3.4	9.2
比・差	77%	99%	-1.1	100%	77%	51%	71%	-0.5	
シュンライ	本年	8.3	951	5.5	45.1	0.40	3.9	1.7	5.3
	前年	11.3	1161	6.5	48.1	0.61	4.0	1.3	6.5
	比・差	73%	82%	-1.0	94%	66%	97%	132%	-1.3
さとのそら	本年	11.3	1225	6.5	46.6	0.45	3.8	1.0	4.3
	前年	15.6	1919	7.9	49.1	0.70	5.8	1.2	6.1
	比・差	72%	64%	-1.4	95%	64%	66%	84%	-1.8

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注2) 分化程度の前年及び平年差は、下記階級値に変換して計算した。

V：2 VI：3 VII前：4 VII後：5 VIII：6 IX前：7 IX中：8 IX後：9 X以降：11

注3) 小数点以下第2位を四捨五入しており、実際の差と一致しない場合がある

※平年値

ニューサチホゴールドデン及びサチホゴールドデン：平成25～令和2年度（8年間）

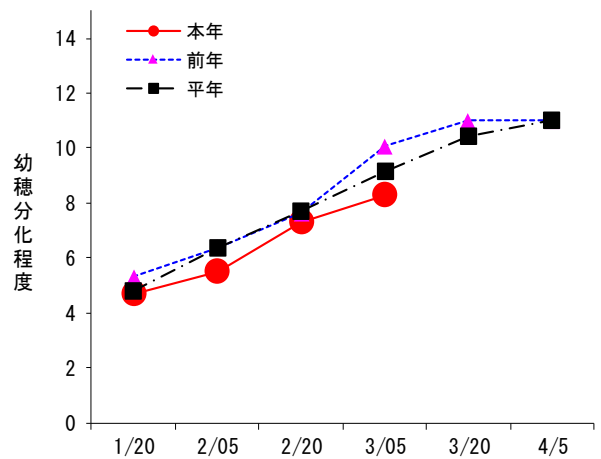
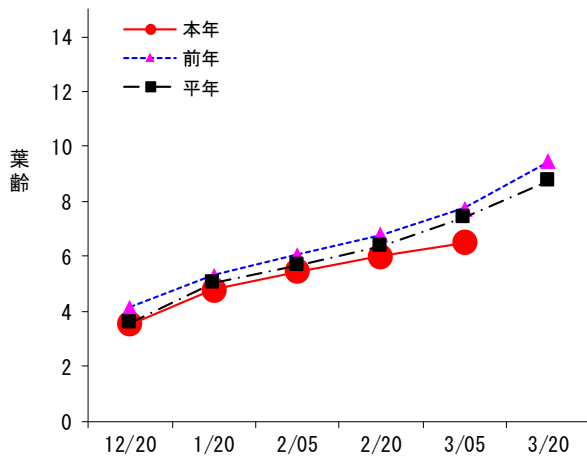
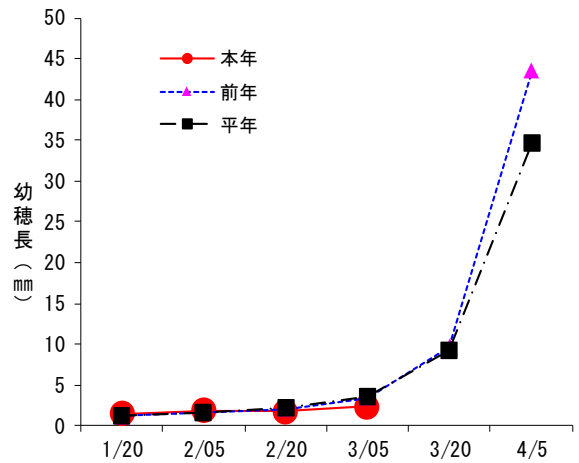
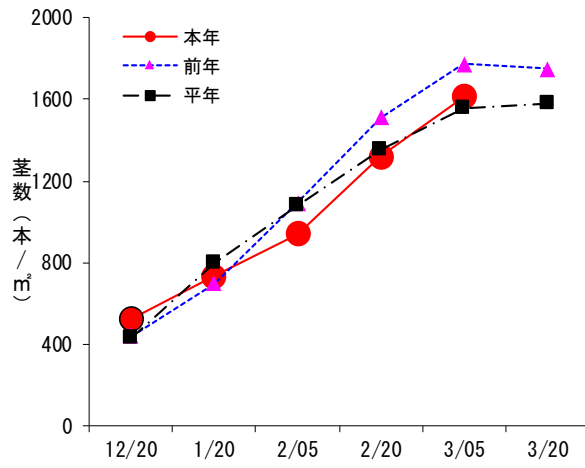
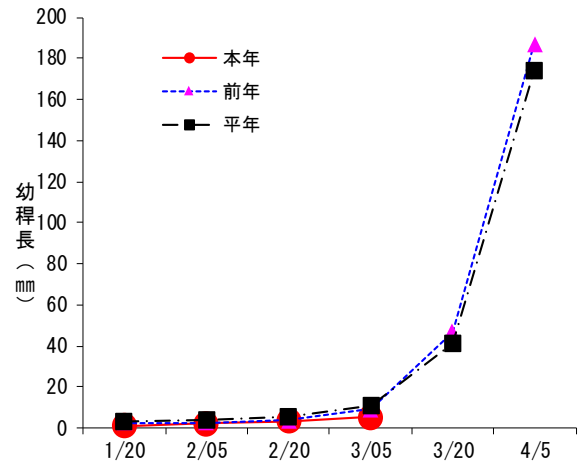
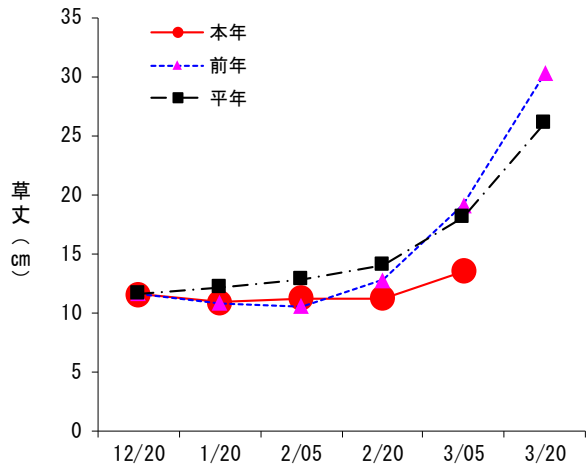
NDVIのみ平成29～令和2年度（4年間）

シュンライ、さとのそらは令和元年から調査を開始したため、平年値無し



写真 ニューサチホゴールドデンの生育状況  
(農試本場（宇都宮市）3月4日)

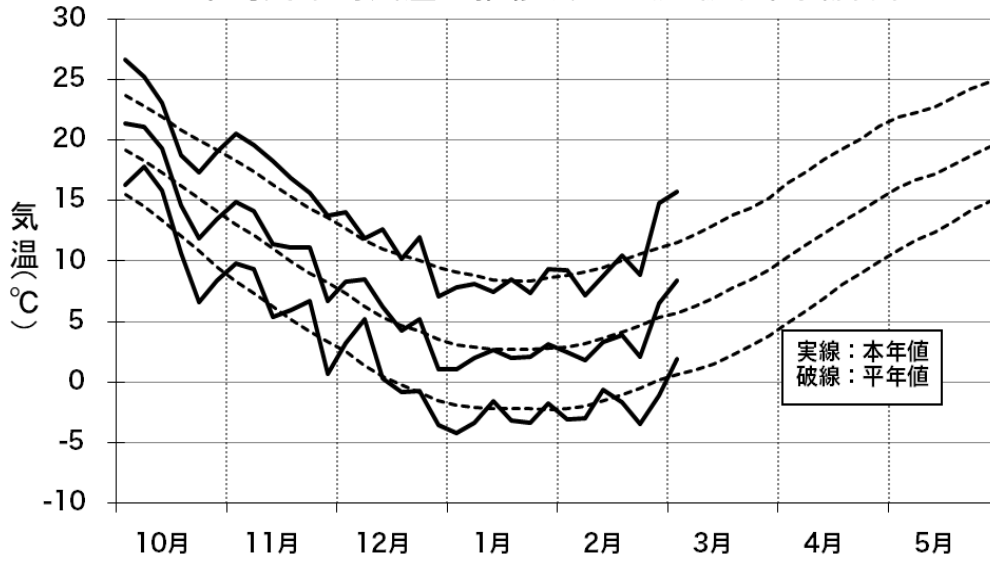
## 【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農試本場）】



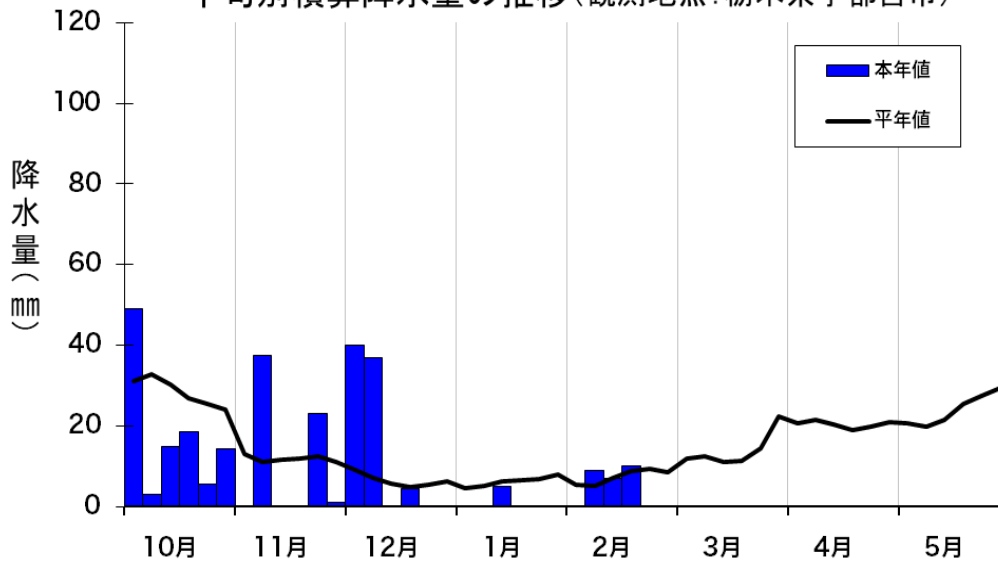
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換  
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7  
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11

【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)

